

静岡県立富士高等学校 2 年

堀内 心結

今回の 10 日間の短期留学は、自分の知らなかった価値観や生活様式だけでなく、人の温かさに触れ、自分の将来をしっかりと見つめ直すことができた、本当に貴重な経験でした。

私がこの制度に参加した主な理由は 2 つです。

一つ目は、自分の緊張しやすい性格を、さまざまな人が集まるニューヨークという場所で成長させたいと思ったこと。二つ目は、まだ定まっていない自分の将来の方向性を、世界中から多くの人が集まるニューヨークで見つけないと思ったことです。

出発前、私は外国人に対して「怖い」というイメージを根強く持っていました。「日本が一番安全だ」「日本人は外国人よりもっと優しい」といった声を何度も聞いたことがあります。しかし、このプログラムを通して、どの国の人でも心を持って通じ合うことができるのではないか、と感じる出来事が本当にたくさんありました。

初日、飛行機に搭乗して席に着く前に荷物をしまおうとしていたら、同じ列の外国人の女性が手伝ってくれました。また、私が食事の注文をうまくできなかったり、窓の仕組みが分からなかったりしたときには、隣に座っていた英語を話す女性が親切に助けてくださいました。機内を見渡すと日本人はほとんどおらず、最初は不安になっていた自分が少し恥ずかしくなりました。

2 日目はニューヨークの中心地へ行き、サークルラインというボートからの景色を楽しんだり、街を歩いていろいろなお店をのぞいてみたりしました。私が想像していた以上の迫力で、食べ物も建物も信じられないくらい大きかったです。また、道で大麻を吸っている人や、お金を求めている人、デモをしている人など、日本ではあまり見たことのない刺激的な光景も目の当たりにしました。「これがアメリカなのか」と強く感じると同時に、このような光景が残りの日々も続いたらどうしよう、と少し不安にもなりました。

3日目から5日目までは、ダニエルさんのお宅でホームステイをさせていただきました。そこで感じたことは、英語の難しさと人の温かさ、そして日本とは異なる生活です。

私は英会話に少し通っていて、英語でコミュニケーションを取れるよう、学校でも英語の勉強を頑張ってきたつもりでした。しかし、いざネイティブの方と話してみると、伝えたいことは頭に浮かぶのに、それをきちんとした英文にして伝えることがなかなかできませんでした。また、学校で習うような英語だけではなく、よりくだけた表現が使われ、話すスピードも私の想像の何倍も速く、初めは聞き取るのがとても難しかったです。

でも、ダニエルさんやロンさん、マヤさんは、私たちに合わせてゆっくり、はっきりとした発音で話しかけてくださり、徐々に自分なりの英語で質問をしたり、日常会話をしたりすることができるようになりました。ダニエルさん一家は、私たちの話に何度もうなずきながら耳を傾けてくださり、分からないときには翻訳を使いながら、私たちの希望に沿った計画を立ててくださいました。カヤックやピククルボール、水族館など、素敵な思い出でいっぱいです。

また、実際にアメリカの家庭に泊まってみて、浴槽がなかったり、車の運転席が日本と反対側だったり、驚いたこともたくさんありました。

7日目から9日目までは、ショーンさん一家にホームステイさせていただきました。ショーンさんは日本語を勉強していて、私たちに日本語の単語の意味を聞いてくれることもあり、お互いに言葉を教え合いながら楽しく生活することができました。

ショーンさんも私たちのためにプランを立ててくださり、ショッピングやボウリング、アイスホッケー観戦など、ダニエルさん一家とはまた違った素晴らしい体験をさせていただきました。他のご家族の方々も本当に親切で、「ちゃんと寝られた?」「もっと食べてね!」など、いつも私たちを気遣ってくださいました。ご家族のみんなで食べたスモアや、一緒に楽しんだボウリングが忘れられません。

ホームステイを体験して、どちらのご家族も、家族で過ごす時間をとても大切にされていると感じました。食事中はテレビをつけず、「今日は何があった?」「これ、おいしい!」などと会話を楽しんでいた。その温かい会話の中に私も入ることができたことが、すごく幸せでした。

8日目のプールパーティーでは、ニューヨークで活躍されている日本人の方々や、日本語を学びたい外国人の方々が集まっていました。そこで、「なぜここに来たのか」「将来どうなりたいのか」と質問していただき、皆さんのこれまでの経験や、自分の道をどのように切り開いてきたのかについてお話を聞くことができました。

どの方も悩んだり苦しんだりしながらニューヨークで過ごし、それでもいろいろな人に助けてもらって今がある、とおっしゃっていました。私も進路に悩んでここに来て、こうしてたくさんの方々に助けていただきました。私もいつか、ニューヨークでさまざまな人を支えながら輝いている皆さんのようになりたい、と強く思いました。

また、ショーンさんは空港で働いていて、私が空港の仕事について質問したところ、とても詳しく教えてくださり、どんどん興味が湧いてきました。

「自分がやりたい!と思うことができる場所がニューヨークだよ」と皆さんはおっしゃっていました。その言葉を聞いて、自分の思いに素直になることは大切なのだと強く実感しました。ある方は、「英語が上手でなくても、心で通じ合っているんだよ」とおっしゃっていました。

本当にその通りだと感じた **10** 日間でした。

この **10** 日間は、日本とは異なる文化を楽しめただけでなく、英語との向き合い方、そして自分の将来との向き合い方を見つめ直し、自分自身の成長につなげることであった、夢のような時間でした。

このような貴重な環境を整えてくださった望月さんには、感謝の気持ちでいっぱいです。本当に毎日が充実していました!

ありがとうございました!